

JENESYS2015 招へいプログラム

対象国: マレーシア

テーマ: 社会(政治システム交流)、文化(文化芸術交流、日本文化体験)の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、マレーシアから日本の社会・文化に関心を有する高校生、大学生、大学院生計 65 名が 11 月 10 日から 11 月 17 日までの 7 泊 8 日の日程で来日し、日本の政治、社会、歴史、文化及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指したプログラムに参加しました。

2. 参加国・人数

マレーシア 65 名

3. 訪問地

東京都、青森県

4. 日程

- 11 月 10 日(火) 成田国際空港より入国、来日オリエンテーション
【歴史・伝統文化】皇居
- 11 月 11 日(水) 【日本理解講義・基調講演】
【歴史・伝統文化】江戸東京博物館、浅草
- 11 月 12 日(木) 青森県へ移動(新幹線)
【地方自治体表敬】南部町議会見学と市議からの講話(A)/地域紹介(B.C)
【歴史・伝統文化】名久井農業高校郷土芸能部(伝統芸能・和太鼓演舞を通じた体験交流)(B.C)
【商業施設視察】南部町営市場(A)
- 11 月 13 日(金) 【学校交流】八戸工業大学
【日本文化体験】八戸市ポータルミュージアム「はっち」での地域伝統文化学習と工芸体験
【ホームステイ】ホストファミリー対面式
- 11 月 14 日(土) 【ホームステイ】
- 11 月 15 日(日) 【ホームステイ】ホームステイ歓送会
【ワークショップ】
- 11 月 16 日(月) 青森県から東京へ移動(新幹線)
【成果報告会】訪日成果・帰国後活動計画発表
- 11 月 17 日(火) 成田国際空港より出国

5. JENESYS2015 プログラム記録写真

マレーシア訪日団第2陣の記録

| | |
|---|--|
|  |  |
| <p>11/11【日本理解講義】(東京都)</p> | <p>11/12【地方自治体表敬訪問】南部町議場 (Aグループ)(南部町)</p> |
|  |  |
| <p>11/12【地場産業】南部町営市場 (Aグループ)(南部町)</p> | <p>11/12【歴史・伝統文化】名久井農業高校 (B・Cグループ合同)(南部町)</p> |
|  |  |
| <p>11/12【歴史・伝統文化】名久井農業高校 (B・Cグループ合同)(南部町)</p> | <p>11/13【概要講義】八戸工業大学 (A・B・Cグループ合同)(八戸市)</p> |



11/13【最先端技術】八戸工業大学
(A・B・Cグループ合同)(八戸市)



11/14【伝統文化】ホームステイ(南部町)

6. 参加者の感想

◆大学生(Aグループ)

現在、日本について勉強中です。ジェネシス参加を通じ日本理解を深めることができたので訪日できてとても嬉しいです。一番印象深いのは南部町議会でした。議会進行中に質問する機会が得られ、議員の方々は日本社会や政治に関する私たちの質問に精一杯答えてくれました。日本の政治システムを体験するのは本当に驚くべきことです。また、ホームステイは素晴らしく一生心に残る記憶です。気候はマレーシアと全く違い、強風と寒さを感じました。南部町は季節毎に林檎、さくらんぼ、梨など新鮮な果実で有名な所です。ホストファミリーの親切さが素敵な記憶をもたらし、必ず、日本での経験を帰国後友人たちと分かち合います。

◆大学生(Aグループ)

日本について最も感銘を受けたのは日本人の特徴でした。日本人は社会生活において、大変組織的であり、規律正しいです。例えば、ホストファミリーでの滞在では、ファミリーのお母さんと、私たちのスケジュールについて話し合いました。そのスケジュールのお蔭で、とても計画的に全ての活動を行うことができました。また、大好きな日本文化の中でも、特に茶道が好きです。お茶の立て方、出し方を学ぶ機会がありました。日本には茶道、和室、伝統衣装、伝統舞踊など、特有の文化があります。その他、日本の高い衛生への意識も、印象深かったです。日本は街路ひとつをとっても、大変美しい国で、清潔です。マレーシアに帰国後、訪日時の経験ならびに日本の良いところを家族・友人と共有します。

◆大学生(Bグループ)

何より感動したのは、日本人の時間管理です。日本人は時間を守り、予定通り仕事をこなしていきます。例えば、新幹線の運行など、午前 10:20 発予定の新幹線は、きっちり午前 10:20 に出発します。また、日本の鉄道会社のシステムも驚きでした。日本人の規律正しく体系的な体制にとっても感動しました。

日本滞在中に得たすべての経験、日本人のゴミの捨て方といった小さなことから、南部町でのホームステイなど、どの体験もすべて多くの人と分かち合いたいと思います。日本の温水洗浄便座、健康的な食生活、礼儀正しさや日本語、環境にやさしい試みや狭い場所を

有効に使う様子など数え上げられないほどの感動の体験があります。素晴らしい環境の南部町でのホームステイ体験、家族や近所の人々の温かさ、農地を有効に活用する様子や南部町で感じたすべてをあらゆる場面で伝えていきたいと思います。南部町は本当にきれいで、自然が豊かな町です。家族や友人と南部町をまた是非訪れたいと思います

◆大学生 (B グループ)

混み合っているにもかかわらず規律正しさをしっかり維持している、そんな日本の町の様子にとっても感銘を受けました。

日本理解の講義はとても有益で、もちろん来日前にも日本の情報を得ていましたが、さらに多くの情報を得ることができました。

また、高校生や大学生との交流は、とても興味深く、充実した時間を友に過ごすことができました。

そしてホームステイ含むどの訪問も日本に対する意識を大きく前進させてくれましたので、また日本に必ず戻ってきます。

◆高校生 (C グループ)

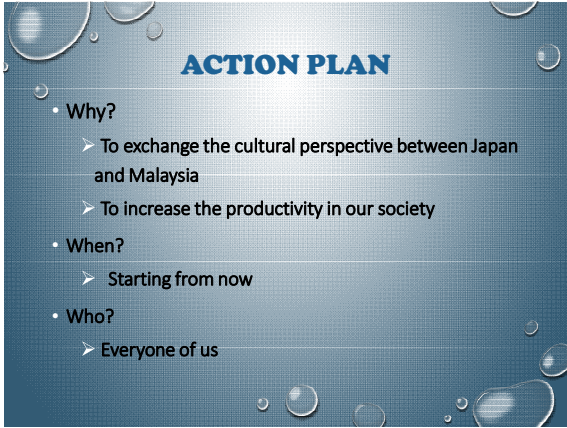
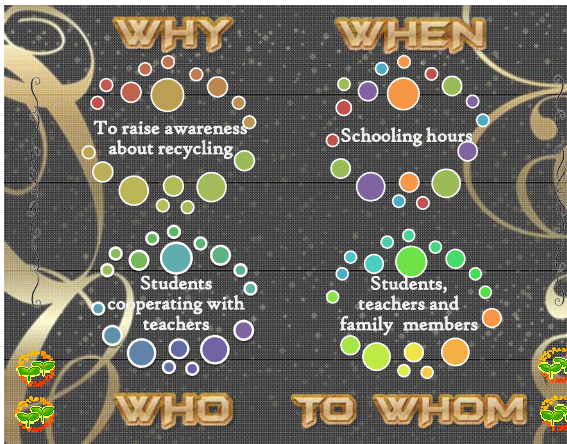

日本はとても興味深い素敵な国です。最初は寒い気候を心配していましたが、滞在中に慣れることが出来ました。日本滞在中に印象に残ったことはいくつかあります。日常生活におけるハイテクなど、センサー付きのシンクや温水洗浄便座です。また、時間に厳守なところや繊細なところが日本の美德だと感じました。ホームステイ期間中にホストファミリーに本当に親切にいただきました。温泉に連れて行ってもらったり、舞踊を教してもらったりしたことなど、新しいことを体験出来るととても楽しかったです。

また、国の開発のために地道に努力を重ねてきたということにも好感が持てます。震災後の経済復興対応には、深い敬意を表します。私にとって、日本の美というのは、これらのことです。日本は天然資源に乏しいかもしれませんが、経済大国のひとつになれるのです。

◆高校生 (C グループ)

マレーシアの文化とは全く異なる、日本の日常生活に見受けられた様々な伝統的な要素や文化が日常生活に溶け込んでいることが印象的でした。感動的な江戸の歴史にも驚き、その時代から日本について学ぶことが多くありました。また、マレーシアにはまだ採用されていないので、日本の技術があまりにも進んでいることにとっても驚きました。日本の食品やギフトの可愛い商品包装にも感動しました。帰国後は、日本語や日本文化について自国の皆に共有し、発信していきたいと思います。他には、日本の美しい情景や日本の方の感動的なマナーについても伝えたいと思います。

7. 参加者の報告会／帰国後の発信内容

| | |
|--|---|
|  <p>ACTION PLAN</p> <ul style="list-style-type: none"> • Why? <ul style="list-style-type: none"> ➢ To exchange the cultural perspective between Japan and Malaysia ➢ To increase the productivity in our society • When? <ul style="list-style-type: none"> ➢ Starting from now • Who? <ul style="list-style-type: none"> ➢ Everyone of us | <p>IMPLEMENTATIONS</p> <ul style="list-style-type: none"> • Create social networking sites (SNS). • Share experience on social media ; <ul style="list-style-type: none"> -Facebook: Rakanmuda -Twitter: rakanmudaLAH • Each member conduct continuous program or event • Share the experience on the social media (follow-up program). • Join venture with the local authorities such as Youth and Sports Ministry. |
| <p>A グループ アクションプラン</p> | <p>B グループ アクションプラン</p> |
|  <p>WHY To raise awareness about recycling</p> <p>WHEN Schooling hours</p> <p>WHO Students cooperating with teachers</p> <p>TO WHOM Students, teachers and family members</p> |  <p>WHAT & HOW</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 • Appeal to the teachers about implementing program • Eg: Each class get 4 types of recycling bins 2 • Each week, the amount of waste that is recycle by each class will be measured 3 • Each month we will get a winner • People who don't throw rubbish according the categories will be punished. |
| <p>C グループ アクションプラン</p> | <p>C グループ アクションプラン</p> |